



会津本郷町は、白鳳三山と南部に連なる深緑の山々、東部を流れる大川(阿賀川)のせせらぎに包まれ、歴史と伝統に培われた人々のたゆまない努力により、着実に発展を遂げてきました。

平成四年四月に「本郷町」から「会津本郷町」に町名を変更し、名実ともに会津の中の本当の郷として活気にあふれています。

まちづくりの根本は常に人であり、この町に住んで良かったと真に言えるものでなくてはなりません。

そのために、進み行く時代の潮流を的確に把握し、住民の皆様の貴重なご意見を拝聴しながら、“人と環境に優しく、自然と文化が発展調和した、ゆとりに満ちた都市の形成”をめざす『エコ・カルチャー・タウン(環境文化都市)会津本郷』をテーマに掲げた第四次振興計画を策定し、計画推進のため鋭意努力を重ねて参りました。

本書は、会津本郷町の歴史と文化、これからのビジョンを紹介したものであり、皆様方にご高覧を賜り、本町の姿をご理解いただくための一助となればまことに幸いです。

会津本郷町長 山田 太藏